

地域で子どもを育てるネットワークづくり

下関市立山の田中学校

学校運営協議会について

① 委員の構成と実施回数

13名（自治会長、PTA役員、地域の方々、教職員）・年間6回（偶数月の月末）

② 主な協議内容

- ・学校運営方針と学校課題の協議（6月）
- ・1学期学校自己評価、学習活動「新しい学びのスタイル」の状況報告（8月）
- ・感染症対策に係る学校行事について、部活動の在り方について（10月）
- ・2学期学校評価に関する報告（12月）
- ・来年度の学校運営方針の承認（2月）

③ コーディネーターの活動

- ・学校応援団を組織し、授業支援等学校に必要なボランティアスタッフの募集
- ・朝読書読み聞かせ事業（第3木曜日）
- ・月曜日学習支援事業
（月スタ・夏スペシャル・冬スペシャル）
- ・木曜日コミュニティールーム活用事業
（ぷらっと山の田）



ぷらっと山の田
"ドミノに挑戦"
"アプリでミュージック"



読み聞かせ "にじいろ絵本"



月スタ

特色ある活動

◆小中連携との連動による

9年間を意識した取組

- ・「にじいろネットカレンダー」の作成・配布
- ・「家庭学習の手引き」の配布・活用
- ・「家庭学習がんバッタ週間」の実施
- ・山の田中学校区小中合同授業研究会の実施

来年度に向けて

- ・来年度に向けて、学校運営方針を2月学校運営協議会で承認してもらいます。
- ・学校応援団の充実に向けて、今後も地域・保護者への募集を継続していきます。
- ・生徒・保護者への周知や呼びかけを工夫をして、諸活動の充実を図ります。

地域とともにある学校づくりをめざして

下関市立内日小学校

学校運営協議会について

(1) 実施回数

年間4回開催（5月・7月・11月・2月）

※7月は全教職員が参加、11月は授業参観・給食試食会あり

(2) 主な協議内容

- ・学校経営方針の説明、学校の現状と課題
- ・学校運営協議会の活動
- ・3つのプロジェクト（学び・心・健康）での協議、情報交換など
- ・学校評価及び本年度の反省、次年度の活動

特色ある活動

◆地域の方々・保護者・中学校の先生方による学習支援

(1) サマースクールでの赤ペン先生

夏休み明けの2日間、1学期の学習内容の補充・発展問題に取り組むサマースクールを行いました。地域の方々・保護者・中学校の先生方に学習支援をしていただきました。

「赤ペン先生」としての丸付けだけでなく、一緒になって問題を解いたり、温かい励ましの声をかけたりしていただいたおかげで、子供たちは楽しく充実した学習を行うことができました。

(2) 学習者として道徳の授業に参加

本校は少人数であり、多様な見方・考え方にふれることが難しい状況です。そこで、地域の方々に、参観者としてではなく、学習者として道徳の授業に参加していただき、話し合いに加わっていただきました。おかげで、子供たちはふだんの授業とは違う対話的な学びを体験することができました。また、教員にとっても道徳の授業改善の契機となりました。

◆地域の清掃活動～美化美化（ピカピカ）大作戦

学校運営協議会の「心」プロジェクトで協議されたことを受け、小・中学生、地域の方々に、学校周辺の清掃活動を行いました。地域の方から「ありがとう」

「がんばってね」などと声をかけられ、子供たちはやる気満々でがんばりました。学校に戻り、ゴミの分別もきちんと行いました。

来年度に向けて

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止ため、計画していたコミュニティ・スクールの取組ができないことが多く、地域の方からも学校に行く機会が減り、残念だったという声をたくさん聞きました。来年度は感染防止対策を十分検討した上で、今年度の取組の反省を生かし、学校及び地域を盛り上げる取組を行っていきたいと思います。

